

令和2年度学校自己評価(アンケートの集計と考察)

長野県稲荷山養護学校

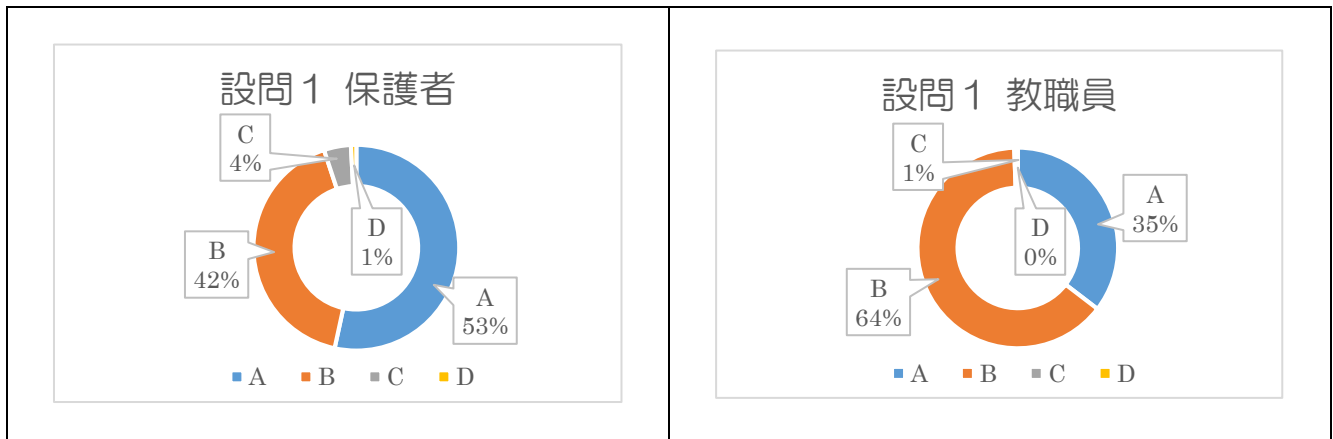
1 回収率(※ 人数は児童生徒数)

	小学部			中学部			高等部			分教室			寄宿舎			大学部			合計		
	人数	提出	%	人数	提出	%	人数	提出	%	人数	提出	%	人数	提出	%	人数	提出	%	人数	提出	%
保護者	108	86	80	65	52	80	99	87	88	22	13	59	25	25	100				294	238	81
教職員																			178	178	100

評価基準 A: そう思う B: だいたいそう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない

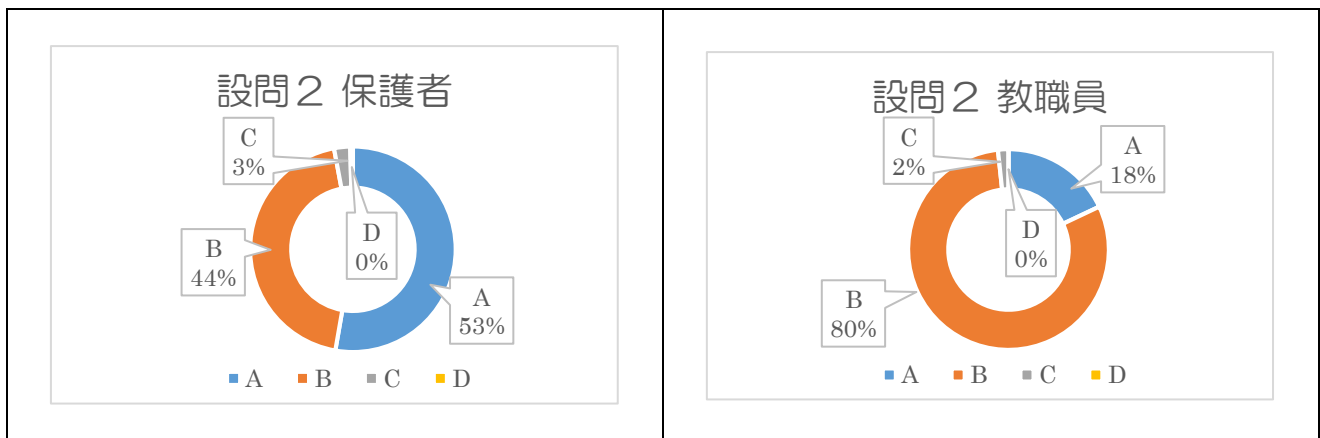
2 項目ごとの保護者・教職員間比較(※ 設問は保護者アンケートの内容)

設問1 職員は、生活年齢や障がい特性に配慮し、特別支援教育の専門性を活かした教育を行おうと努力していると思いますか。



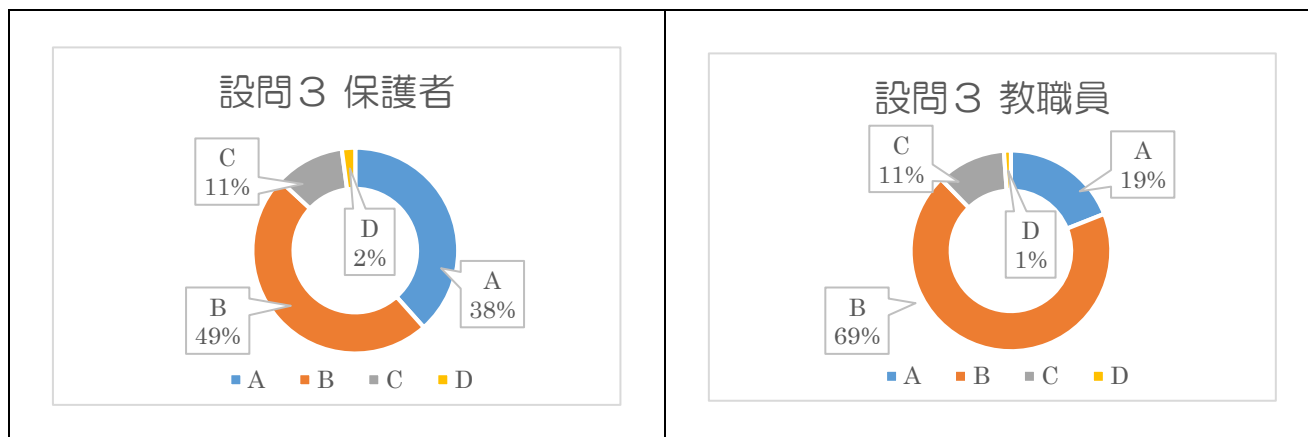
教職員・保護者共にAとBを合わせた評価が今年度も90%を超えました。保護者の自由記述には「子どもに合った指導支援がされている」「本人に合った個別の課題が工夫されている」「障がいのある子どもに合った接し方をしてほしい」「成長が感じられるような指導をしてほしい」等の意見が挙がっています。生活年齢や障がい特性に応じた話し方やかわり方について担任間で改めて見返し、子どもの人権を守り抜く学校として、一人一人に応じた言葉がけや接し方の更なる向上をめざしてまいります。また、教職員の専門性向上に向けた各種研修の継続により、一人一人に応じた指導支援を充実していきます。

設問2 学校は、個別の指導計画を作成し、それに基づいて適切な指導、支援をしていると思いますか。



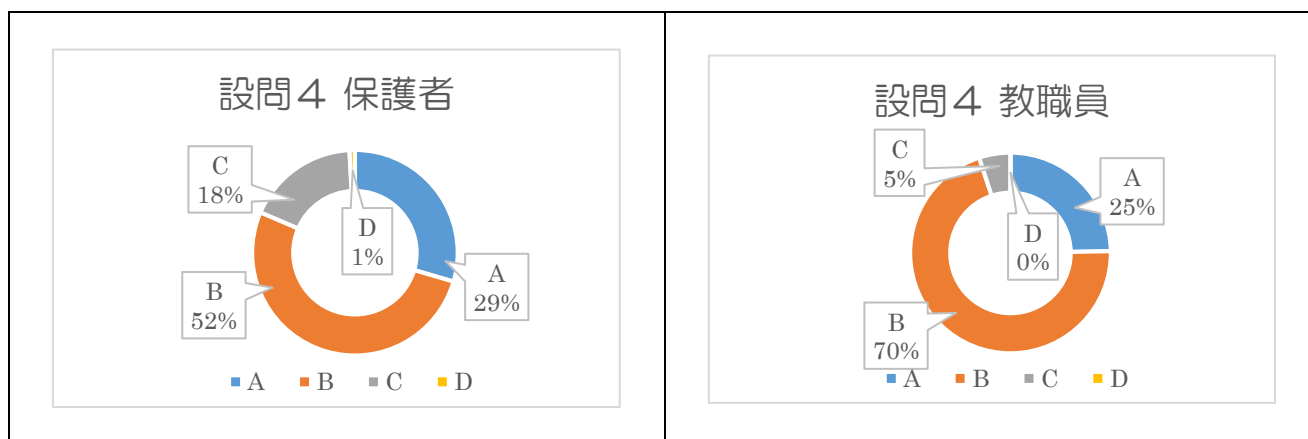
保護者の回答を見ると、AとBを合わせた評価が昨年と同じ97%となりました。個別の指導計画が、保護者と学校間で「児童生徒理解や指導支援について共有するツール」として位置づき、指導計画に基づいた指導や支援が継続されてきた成果だと思われます。教職員の回答では、C評価が昨年度より8%少なくなりAB評価が増えた一方で、「見直しや授業への活用がされていない」という声もありました。今年度の取り組みを継続しつつ、個別の指導計画に基づいた指導支援や学校生活づくりを今後も推進してまいります。

設問3 学校は、前年度の学級や学部からの引き継ぎが適切になされ、連携した指導、支援を行っていると思いますか。



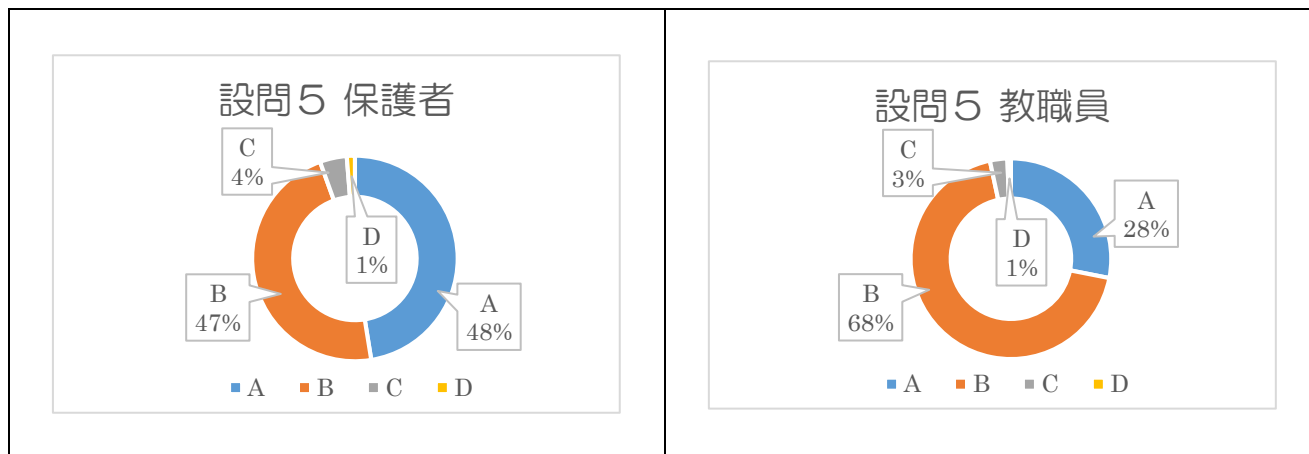
保護者の評価は今年度もAとBを合わせて87%となり、昨年度の改善傾向が維持されています。設問1・2に比べると、設問3はやや評価が低い傾向が続いています。教職員はC評価が9%減り、AB評価が増えました。引き継ぎや連携を意識して指導支援を行ってきた成果が評価の向上につながったと思われます。保護者の自由記述に「担任が変わる度に子どもの特性について一から説明が必要」「新任が前年度までの様子を把握していない」「子どもの負担が減るよう、苦手な部分くらいは引継いでほしい」等の記述が見られました。学校では学年間や部間の引き継ぎを大切に位置づけて行っていますが、よりよい引き継ぎに向けて保護者の声に一層応えていくことが大切であると考えます。一人一人の特性や配慮点により重点を置いて引き継ぎをし、新年度の児童生徒の指導支援が円滑に移行されていくようにしてまいります。

設問4 学校は、家庭・地域・関係機関（市町村の福祉関係機関、支援センター、ハローワーク、医療機関、児童相談所等）と有意義な連携を行っていると思いますか。



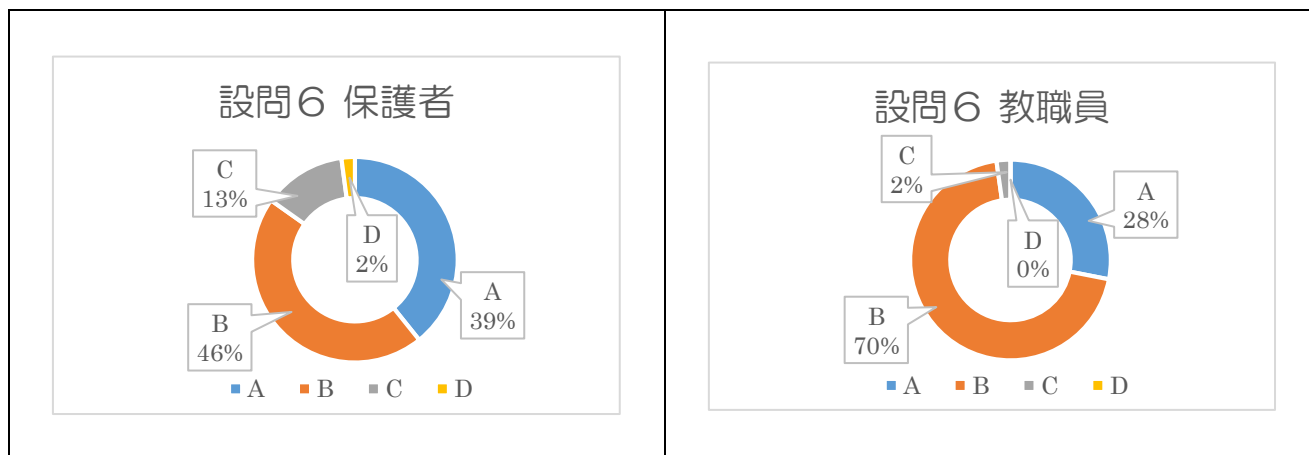
保護者の評価は昨年度と大きな変化はありませんでした。他項目に比べてC評価が高い傾向が続いており、自由記述では「各関係機関に一から説明が必要」「学校とどう連携をとったらよいか分からない」「有意義な連携はどのようなことか」「支援会議が行われていないので心配」等の意見がありました。教職員についてはAとB評価が年々増えてきており、諸機関との情報共有やネットワークづくりを意識して取り組んできた成果であると思われます。一方で保護者の回答と比べると、AとBを合わせた評価に約10%の差が見られ、いっそうの工夫や改善が求められる項目と言えます。保護者が地域や各機関との連携をより実感できるように、地域や関係機関からの情報の日常的な共有や必要に応じた支援会議の開催等の取り組みをいっそう進めてまいります。

設問5 児童生徒は、学校生活を通してその子なりに基本的な生活習慣（あいさつ、身辺自立、性に関する事等）が育っていると思いますか。



教職員、保護者の回答を見るとAとBを合わせた評価が今年も90%を超えました。自由記述では、保護者・教職員ともに「挨拶」に関する意見が挙げられていました。「子どもたちに、自分から挨拶する力や挨拶をされたら返す力をする力を身につけさせたい」「知らない保護者への挨拶が見られない」「挨拶をしても返事がない」等の声が寄せられました。日頃の挨拶について全校で振り返るとともに、教職員が率先して挨拶をしてモデルを示しながら、誰とでも気持ちよく交わす挨拶に学校全体で取り組んでまいります。また「性に関する指導」への要望も寄せられました。一人一人の心と体の状態を把握し、個に応じた指導を丁寧に進めてまいります。

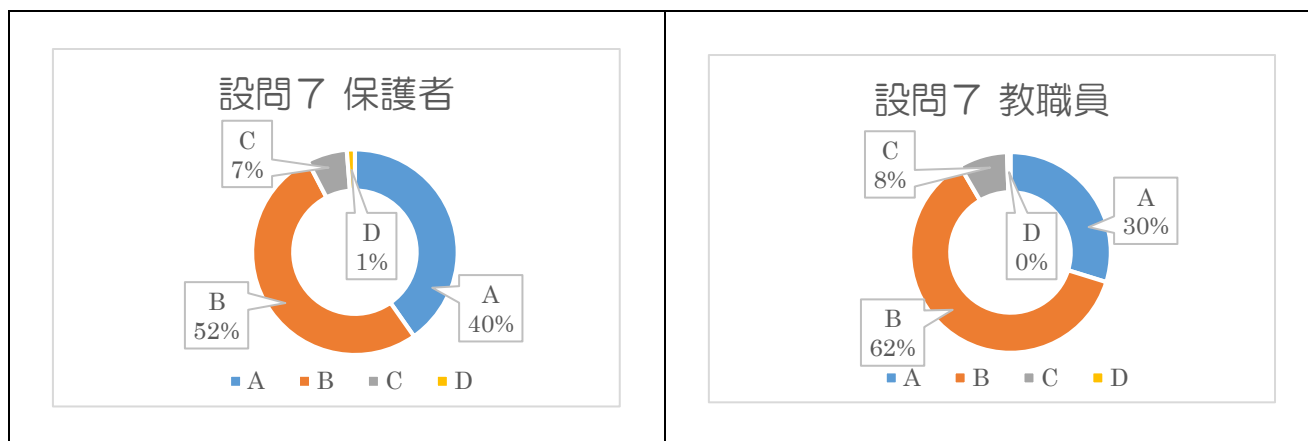
設問6 学校や家庭における悩みなどを気軽に相談できる体制が整っていると思いますか。



保護者の回答はAとBを合わせた評価が2年間続けて改善傾向にあり、85%となりました。教職員のAまたはBの評価が増えて98%となり、CまたはDの評価が昨年度に比べて7%減少しました。昨年度アンケートの「家庭と相談できる時間や場、関係が思うようにとれていない」という結果を受け、教職員が家庭との相談を大事にして取り組んできた成果であると思われます。

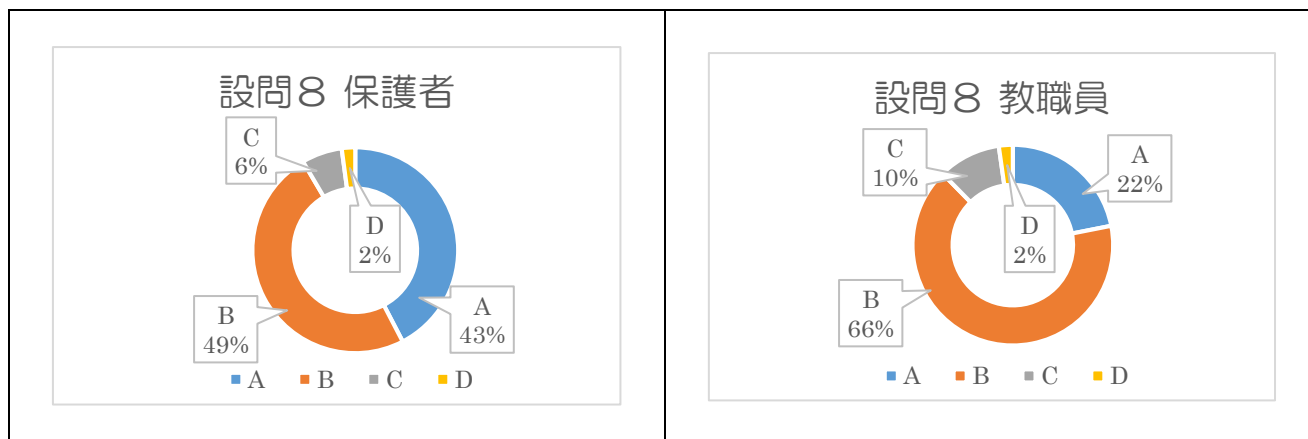
本項目も保護者の評価との間に約10%の差があり、いっそうの工夫や改善が求められる項目と言えます。今後も、連絡帳や電話、対面等の様々な方法を通じて日常的なやりとりを大切にし、保護者が相談しやすい関係づくりをさらに進めてまいります。

設問7 交流や宿泊行事、校外学習は、児童生徒の実施にあったものになっていると思いますか。



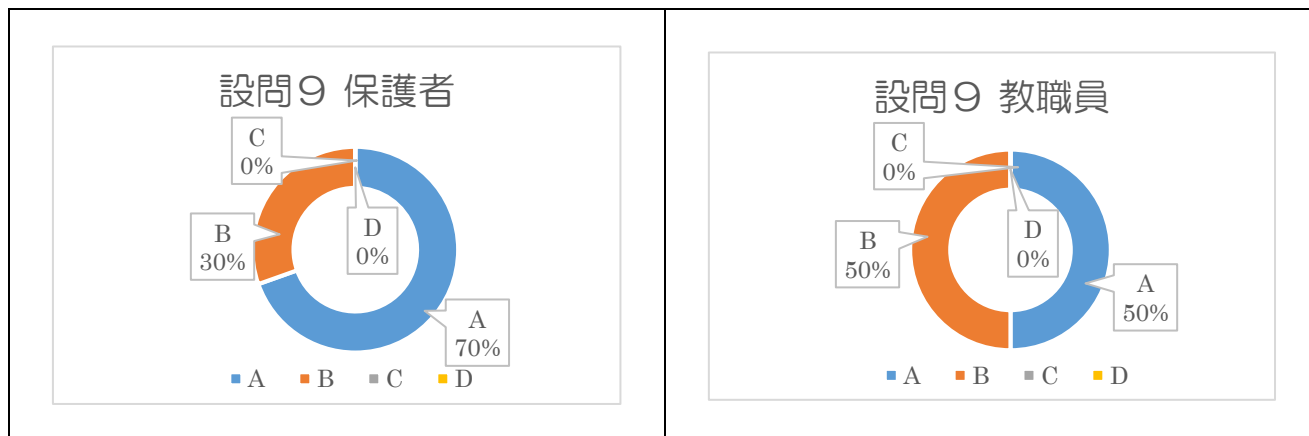
教職員、保護者ともにAとBを合わせた評価が今年度も90%を超え、2年連続でAまたはBの評価が増えています。今年度は新型コロナウイルス感染症警戒レベルの変動に伴い、予定していた行事や交流が中止となる場合があります。保護者の自由記述では「コロナ禍で校外学習や参観日、交流等の行事が減って残念」との意見が複数寄せられました。今年度は、感染警戒レベルが3以下の場合には、感染予防対策を講じたり方法を工夫したりして可能な限り実施をしております。今年度の工夫点や反省に基づき、コロナ禍でも安全で安心して参加できるように校外学習や宿泊を伴う行事、交流（副学籍・居住地校・交流提携校）を計画しております。参観日についても、密を避けて安心して来校いただける形を考え、実施しております。

設問8 学習環境（学校の施設・設備、教室環境など）は、児童生徒にとって生活しやすいものになっていると思いますか。



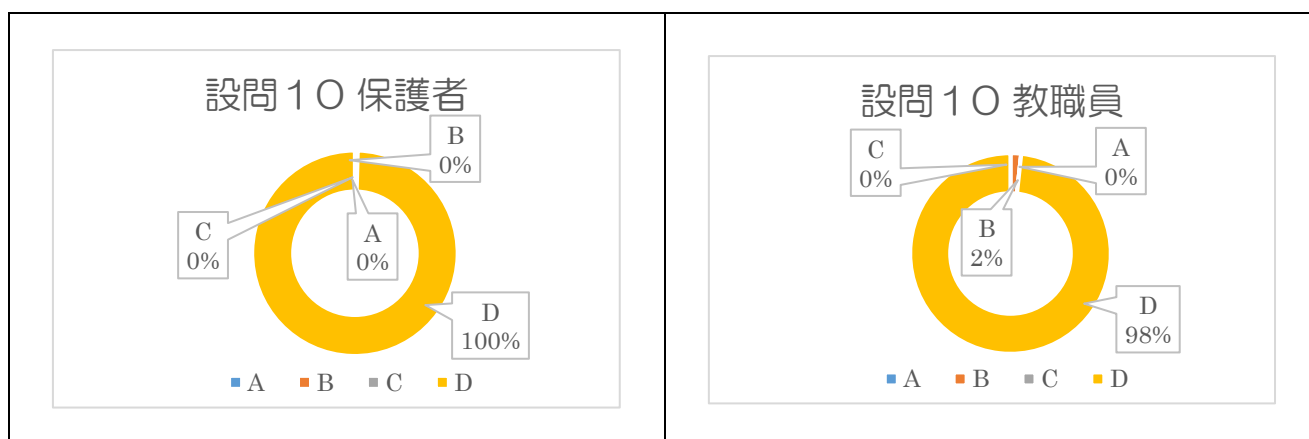
保護者の回答はAとBを合わせた評価が90%となりました。教職員については、CとDを合わせた評価が5%減少し、昨年度の評価を受けて学習環境の改善に向けて工夫のできることに取り組んだ成果が徐々に表れていると思われます。保護者の自由記述には「教室が狭い・足りない」「先生を増やしてほしい」「冷暖房の開始時期を早めてほしい」「冷暖房の温度設定を子どもに合わせてほしい」「玄関が暗くて危険なときがある」等の意見が挙げられました。教職員の自由記述には「クールダウンできる場所がない」「教室が足りない」「特別教室を譲り合っているが足りない」という意見が挙げられました。冷暖房については、児童生徒が活動する教室は健康面に配慮して早めに冷暖房の対応をしていますが、全ての温度調整を冷暖房で対応するのは難しいため、個に応じて衣服や掛け物等の着脱もこまめに行うようにしております。照明については、教室を含め安全な学校生活を過ごせるように全教職員で留意しております。教室数不足については、本校の課題として検討しております。

設問9 寄宿舎では、舎生にとって安心安全な環境を整えたり、温かい支援が行われたりしていると思いますか（現舎生保護者）。



教職員、保護者共にAとBを合わせた評価が100%となりました。保護者のA評価は3年間で最も高くなっており、今年度はCまたはDの評価が0になりました。教職員の結果と合わせて見ても、寄宿舎における指導支援の工夫改善が成果として表れてきていると思われます。今後も保護者と連携しながら、安心安全な環境作りや一人一人に応じた指導支援に努めてまいります。

設問10 今年度、あなたのお子さんが体罰をされたということを見たり聞いたりしたことはありますか。



保護者・教職員ともに、Bの「ある」が昨年度に比べ2%減少し、「ある」との回答が保護者1名、教職員3名で保護者のB評価は3年間で最も少なくなりました。具体的な記述は保護者・教職員ともに見られなかったため、情報提供を呼びかけるとともに、再度、教職員全体で児童生徒の指導支援を振り返り、体罰を許さない学校づくりの推進について確認しあいました。今後も、引き続き全校一丸となって取り組んでまいります。

3年間の比較

